

## 公表 事業所における自己評価結果(放課後デイ職員)

事業所名		みんなの家のどか			公表日	2026年2月2日	
		チェック項目	はい	どちらでもない くない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制	1	職員の配置数は適切であるか。	5	2	2		配置基準は満たしているが、直接的支援量が多い利用者や業務過多の為、人員不足だと感じる。
	2	事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリーの配慮が適切になされているか。	9			開業よりしっかりと設備が整っている。	
業務改善	3	業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参加しているか。	6	3		毎月、全体会議や勉強会を開催している。	振り返りの機会があるが、取り組み方に格差がある。
	4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	3			
適切な 支援の 提供	5	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画書を作成しているか。	7	2			
	6	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5	2	2	口頭で確認ができている。	
	7	定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	1	すぐに伝えなければならない事は口頭で伝えケース記録にも残している。	
	8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	1		
	9	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	7	2			
関係機関 や保護者 等との 連携	10	障がい者相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子供の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか。	8	1			
	11	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2			学校や支援員とは連携がとれている。迅速に対応できない時があるのが課題。
	12	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子供の主治医と連絡体制をとっているか。	3	6		研修会などに参加し受け入れ手順を勉強している。	
	13	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6	1		
	14	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	7			
	15	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか。		7	2		
保護者	16	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	2			保護者の仕事等で上手く連絡ができない時がある。
	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			契約時、重要事項説明書、契約書に沿って説明を行っている。	
	18	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	2		普段の何気な会話から困り事などを聞き出すようにしている。	

各 への 説明 責任 など	19	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1			
	20	個人情報に十分注意しているか。	7	2			
	21	障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	2			
	22	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		9			
非 常 時 等 の 対 応	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	1		
	24	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9				
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7	2			